※令和４年度以降入学生用

学校番号	１００１

令和５年度　芸術科　音楽

教科	芸術	科目	音楽Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	改訂版「ON！１」　（音楽之友社）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

歌唱・器楽演奏（アルトリコーダー、ギターなど）・ミュージカルや様々な音楽に特徴がある映像などの鑑賞などを行います。
授業を「受ける」のではなく、授業に「参加する」ことがまず必要です。積極的な姿勢で授業に参加し、音楽に対する知識だけでなく、演奏技術や表現方法などを身につけていきます、また、それをクラス内で実技発表してもらいます。
小学校、中学校の音楽経験には個人差がありますが、自分でどのような力を身につけたいかを考え、コツコツ練習を重ねることで自信を持って満足のいく演奏ができるようになっていきます。

２　学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばす。
①　曲種に応じた奏法の工夫、知識の習得を身につけることができる。
②　曲の構成や曲想を把握して表現することができている。
③　積極的に授業に参加しようという姿勢や準備ができており、自分の取り組みなどを自己評価することができる。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・歌唱 曲種に応じた発声の工夫、知識の習得と実践ができている。 視唱力が身についている。 ・器楽 様々な楽器の体験と奏法の工夫、知識の習得と実践ができている。視奏力が身についている。 ・鑑賞 声や楽器の特性と表現上の効果についての知識習得ができている。	・歌唱 歌詞及び曲想の把握と表現の工夫ができている。 合唱における表現の工夫ができている。 ・器楽 曲の構成及び曲想の把握と表現の工夫ができている。 合奏における表現の工夫ができている。 ・鑑賞 さまざまなジャンルの音楽作品を歴史的、文化的観点からも知ることができている。	・歌唱 積極的に授業に参加しようとする姿勢、準備ができている。 振り返りシートによる自己評価、実技発表を自己評価、他人の演奏を聞いての評価ができている。 ・器楽 技術習得に向けて積極的に取り組もうとする姿勢、準備ができている。 振り返りシートによる自己評価、他人の演奏を聞いての評価ができている。 ・鑑賞 記録シートを活用している。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期・後期	歌唱	独唱、重唱	a：曲種に応じた発声の工夫、知識の習得と実践ができている。 視唱力が身についている。 b：歌詞及び曲想の把握と表現の工夫、合唱における表現の工夫ができている。 c：積極的に授業に参加しようとする姿勢、振り返りシートによる自己評価、実技発表を自己評価、他人の演奏を聞いての評価ができている。	振り返りシート 実技	振り返りシート 実技	振り返りシート 実技 準備物
前期・後期	器楽	クラシックギター	a：様々な楽器の体験と奏法の工夫、知識の習得と実践ができている。視奏力が身についている。 b：曲の構成及び曲想の把握と表現の工夫、合奏における表現の工夫ができている。 c：技術習得に向けて積極的に取り組もうとしている。振り返りシートによる自己評価、他人の演奏を聞いての評価ができている。	振り返りシート 実技	振り返りシート 実技	振り返りシート 実技 準備物
前期・後期	器楽	アルトリコーダー	a：様々な楽器の体験と奏法の工夫、知識の習得と実践ができている。視奏力が身についている。 b：曲の構成及び曲想の把握と表現の工夫、合奏における表現の工夫ができている。 c：技術習得に向けて積極的に取り組もうとしている。振り返りシートによる自己評価、他人の演奏を聞いての評価ができている。	振り返りシート 実技	振り返りシート 実技	振り返りシート 実技 準備物
前期・後期	鑑賞	教材に関する音源、映像鑑賞 様々なジャンルの音源、映像鑑賞	a：声や楽器の特性と表現上の効果についての知識習得ができている。 b：さまざまなジャンルの音楽作品を歴史的、文化的観点からも知ることができている。 c：記録シートを活用している。	鑑賞記録シート	鑑賞記録シート	鑑賞記録シート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度